



フェルメールの傑作《真珠の耳飾りの少女》 今夏、14年ぶりに来日決定！大阪へ！！

2026年8月21日～9月27日、大阪中之島美術館で開催の展覧会で公開

オランダの黄金時代の美術を代表する画家 ヨハネス・フェルメール(1632-1675)の傑作《真珠の耳飾りの少女》が、日本で展示されることとなりました。約120万人が来場した、2012年の「マウリッツハイス美術館展」(朝日新聞社など主催)以来、実に14年ぶりの来日となります。

この作品は、オランダ・ハーグのマウリッツハイス美術館が所蔵する世界的名画で、原則として館外への貸し出しはされていません。今回の来日はマウリッツハイス美術館の改修工事による臨時休館に伴い実現することとなりました。同館のマルティネ・ゴッセリンク館長は、「当館には毎年、フェルメールの《真珠の耳飾りの少女》を愛する何千人もの日本人観光客が訪れます。当館にとって、この『少女』の旅は、日本の皆さまに彼女を送り届けられる、おそらく最後となるであろう特別な機会です。」と話します。

本作品は、大阪中之島美術館・朝日新聞社・朝日放送テレビの主催で、2026年8月21日から9月27日まで大阪中之島美術館(大阪市)で開催する展覧会で公開されます。詳細情報は2月下旬ごろに発表する予定です。

なお、展覧会は大阪のみの開催で、他地域への巡回はありません。



ヨハネス・フェルメール 《真珠の耳飾りの少女》
1665年頃 44.5×39 cm 油彩・カンヴァス
マウリッツハイス美術館 © Mauritshuis, The Hague

ヨハネス・フェルメール (1632-1675)

美術の黄金時代であった17世紀オランダを代表する画家の一人であり、静謐な日常生活の情景を精緻に描いた作品で知られる。制作に関しては一枚の絵に長い時間を費やしたため、完成させた作品は多くなく、現存する作品はわずか30数点しか知られていない。

画家になった当初は聖書や古典神話に基づく歴史画を描いていたが、24歳頃から室内風俗画へと転向した。マウリッツハイス美術館所蔵の《真珠の耳飾りの少女》は、フェルメール作品の中でも最も著名で世界的に広く愛される作品の一つである。

マウリッツハイス美術館

オランダ・ハーグにあるマウリッツハイス美術館は、主に17世紀のオランダ・フランドル絵画の優れたコレクションで知られる。館の建物はオランダ古典様式建築の傑作と評され1644年に邸宅として建設された。その後、1822年に王立美術館として開館した。美術館の基礎となるコレクションは、オラニエ公ウィレム5世の絵画収集品であり、彼の息子であるオランダ初代国王ウィレム1世によって美術館が創設された。所蔵作品には、フェルメールの《真珠の耳飾りの少女》、《ディアナとニンフ》、《デルフトの眺望》の3作品のほか、ヤレンブラントの《ニコラース・テュルプ博士の解剖学講義》をはじめ、ルーベンス、フランス・ハルス、ヤン・ステーンなど著名な画家の傑作が含まれている。



マウリッツハイス美術館
© Mauritshuis, The Hague



開催概要

展覧会タイトル：2026年2月下旬発表予定

会期：2026年8月21日（金）～ 9月27日（日） 38日間

会場：大阪中之島美術館 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島4-3-1

主催：大阪中之島美術館、朝日新聞社、朝日放送テレビ

※その他の詳細は2月下旬ごろから順次発表いたします。本展のお問い合わせ先は2月下旬公開予定です。

展覧会公式サイト：<https://vermeer2026.exhibit.jp/>

展覧会公式X：<https://x.com/Vermeer2026>

展覧会公式Instagram：<https://www.instagram.com/vermeerosaka2026>

報道関係者

お問い合わせ先

「フェルメール展」(仮) 広報事務局 (TMオフィス内) 担当：馬場・永井・西坂

MOBILE：090-6065-0063 (馬場) 090-5667-3041 (永井)

TEL：050-1807-2919 FAX：050-1722-9032 EMAIL：vermeer2026@tm-office.co.jp



[広報用画像一覧]

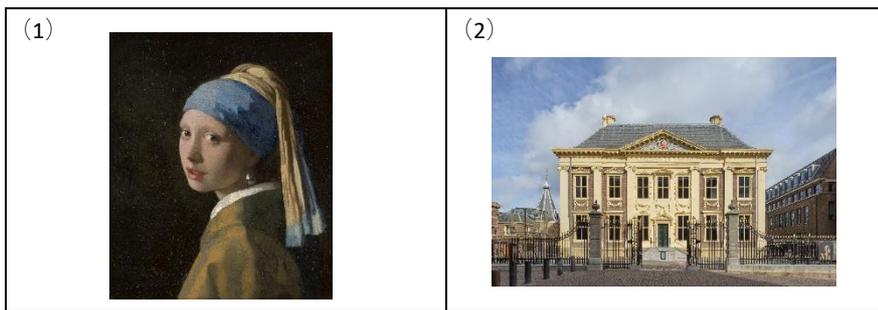
本展の展示物等の画像を、広報素材としてご提供いたします。下記申し込みフォームよりお申し込みください。

[広報用画像申込フォーム]

<https://forms.gle/kp8Ht41TUXHzk93W6>

*難しい場合は申込書に必要事項をご記入のうえ、広報事務局までご送付ください。

■ 広報画像をご使用の際は、別紙に記載の「画像使用全般に関する注意」を必ずご確認ください。



[広報用画像クレジット一覧]

| No. | クレジット・作品名・年代・キャプション |
|-----|--|
| 1 | ヨハネス・フェルメール 《真珠の耳飾りの少女》 1665年頃 44.5×39 cm 油彩・カンヴァス マウリッツハイス美術館 © Mauritshuis, The Hague |
| 2 | マウリッツハイス美術館 © Mauritshuis, The Hague |



[広報用画像申込書]

[画像使用全般に関する注意]

- ・本展広報用画像の使用は、展覧会の紹介を目的とした報道に限らせていただきます。ご使用可能期間は本展会期終了までです。
- ・ご使用の際は、会期、会場名、所定の作品データ、所定のクレジットを必ずご掲載ください。
- ・画像はすべて全図で使用してください。トリミング、文字や他のイメージを重ねることはできません。
- ・本展終了後の掲載、画像の二次使用はできません。本展会期中であっても再放送や転載をされる場合は広報事務局にご連絡ください。
- ・展覧会基本情報と広報画像の確認のため、校正を本展広報事務局にお送りくださるようお願いいたします。
- ・インターネットでご紹介いただく場合はコピーガードをかけてご使用のうえ掲載URLをお知らせください。
- ・掲載誌・紙（ご紹介号）、同録DVDほかを下記広報事務局まで1部お送りください。

[広報用画像申込フォーム]

<https://forms.gle/kp8Ht41TUXHzk93W6>

*難しい場合は申込書に必要な事項をご記入のうえ、広報事務局までご送付ください。

| | |
|------------------|---|
| ご希望の広報画像 / 1 ・ 2 | |
| 貴社名 / | |
| お名前 / | |
| 部署 / | ご所属 / |
| 貴媒体名 / | 媒体種 / |
| サイトURL / | |
| 掲載号・露出予定日 / | 月号 (月 日号) / 月 日発売予定 <input type="checkbox"/> WEBへの転載あり |
| TEL / | FAX / |
| E-MAIL / | |
| 備考 / | |

報道関係者
お問い合わせ先

「フェルメール展」(仮) 広報事務局 (TMオフィス内) 担当: 馬場・永井・西坂
MOBILE : 090-6065-0063 (馬場) 090-5667-3041 (永井)
TEL : 050-1807-2919 FAX : 050-1722-9032 EMAIL : vermeer2026@tm-office.co.jp